

令和6年度版

グループ研究会の活動



一般社団法人

広島県中小企業診断協会

目 次

1. 会長挨拶 『グループ研究会活動の活性化に向けて』	・・・ 1
2. 広島県中小企業診断協会ホームページの研究会連絡窓口	・・・ 2
3. グループ研究会入会および新規設立方法のご案内	・・・ 3
4. 各研究会紹介	
① ISO研究会	・・・ 4
② 建設業研究会	・・・ 5
③ 企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）	・・・ 6
④ 海外展開支援研究会	・・・ 7
⑤ ニューロビジネス研究会	・・・ 8
⑥ 資金繰り表研究会	・・・ 9
⑦ 原価管理研究会	・・・ 10
⑧ 事業承継研究会	・・・ 11
⑨ 企業再生実践研究会	・・・ 12
⑩ カーブを科学する研究会	・・・ 13
⑪ リスクマネジメント研究会	・・・ 14
⑫ 知的資産経営研究会	・・・ 15
⑬ 日本酒の未来を考える研究会	・・・ 16



会長挨拶 『グループ研究会活動の活性化に向けて』



一般社団法人広島県中小企業診断協会会長の井上 明雄です。

当協会は、経営コンサルタントの唯一の国家資格である中小企業診断士の会員による専門家集団です。中小企業診断士の業務は、中小企業支援法で「経営の診断及び経営に関する助言」とされ、「現状分析を踏まえた企業への有用なアドバイス」を信条に、その知識と能力を活かして幅広く活躍しております。

さて、日本経済は、2020年からの新型コロナ禍の中での感染拡大防止と経済の活性化を図ってきたウィズコロナの3年間から脱し、アフターコロナに移行しています。訪日外国人旅行者数の増加など、コロナ以前への回復傾向がうかがえます。また、株価の高騰や大企業を中心に賃上げの動きが広がるなど、デフレ経済からの脱却が期待できる状況も見られます。

このような経営環境変化への対応に加え、中小企業・小規模事業者の維持・存続・成長に向け、DX、カーボンニュートラル、SDGs、ESG、BCP・事業継続力強化、パーパス経営などの多様な取り組みを推進し、経営力を向上させていくことが求められています。

中小企業診断士には、中小企業・小規模事業者に寄り添う伴走支援者として、これまで以上に新たな知識の習得、情報収集の強化、それらを活用した幅広い対応力を継続的に向上させていくことの重要性が高まっています。

当協会は、「中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、より良い方向に導くパートナーとして、中小企業の成長・発展、地域経済の振興に貢献する」ことを使命としており、会員の企業診断、中小企業支援事業等に係る技術・能力の向上に資するグループ研究会の活動を積極的に支援しています。インセンティブとして次のものがありますので積極的なご活用をお願いします。

- ・県協会「診断ひろしま」や協会本部「企業診断」への研究成果の掲載
- ・協会本部の「調査研究事業」への応募・採択による、活動の助成や優秀事例の協会シンポジウム（東京）での発表
- ・調査研究補助事業費の支給（令和6年度は各研究会に計39万円支給予定）
- ・研究の成果を活用した企業、行政その他の団体からの研究事業その他事業の受注

新たな研究会を設立したいという場合には、テーマ型の短期間の研究会を含め、3名以上の会員で「研究会設立届」を提出していただければ、設立が可能です。多くの会員が研究会活動に参加され、自己研鑽やネットワークの拡大に取り組んで頂きますよう期待しております。

最後になりますが、中小企業支援機関や経営者の皆さまで、専門分野の研究を活かしたセミナーや支援等のご希望がありましたら、当協会ホームページの研究会連絡窓口（次ページ参照）からお気軽にお問い合わせいただければ幸甚に存じます。

広島県中小企業診断協会ホームページの研究会連絡窓口 《中小企業経営者・中小企業支援機関ご担当者さまへ》

当協会のグループ研究会では、研究分野の専門性を活かした経営の診断や助言をはじめ、セミナー・研修会等を随時実施しております。

協会ホームページ上にグループ研究会へ直接連絡可能な「ご依頼・ご相談窓口」を設置しておりますので、お気軽にお問合せください。

(注) 報酬その他要件は、研究会「ご依頼・ご相談窓口」へ直接メールでお問い合わせください。

なお、ご依頼・ご相談にかかる一切の行為について、(一社)広島県中小企業診断協会は、何ら責任を負うものではありませんので予めご了承ください。



ホーム 協会について 年間計画 コンプライアンス 定款 会員の皆様へ 入会のご案内 グループ研究会 刊行物
関係先リンク アクセス 問い合わせ 独自活動(図書館相談会、セミナー) グループ研究会へのご依頼・ご相談
プライバシーポリシー



経営者・支援機関さまへ

グループ研究会へのご依頼・ご相談

研究分野の専門性を活かした
支援・セミナー等を実施します



グループ研究会入会および新規設立方法のご案内

○グループ研究会入会方法

- グループ研究会に入会を希望される方は、次頁以降記載の各研究会連絡先まで直接お申し込みください。但し、入会は、原則として、（一社）広島県中小企業診断協会の会員（正会員・準会員・名誉会員・特別会員）に限らせていただきます。中小企業診断士以外および他の都道府県協会の会員で入会を希望される場合は、特別に入会が可能です。

○グループ研究会設立方法

- 新たに会員3名以上からなるグループ研究会の設立をお考えの方は、次の「研究会設立届」を作成し、（一社）広島県中小企業診断協会 グループ研究委員会（jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp）までご提出ください。「研究会設立届」様式は、協会HPよりダウンロードできます。
- 1テーマ完結型など、期間を限定した研究会設立も可能です。お気軽にご相談ください。

研究会設立届

一般社団法人広島県中小企業診断協会

提出日	平成 年 月 日			
承認日	平成 年 月 日			
研究会の名称				
役員	代表			
	会計			
	書記			
連絡先	【名前】 【TEL】 【メールアドレス】			
設立時の会員				
主な研究内容				
活動予定日				
備考				

ISO研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ① ISOの認証取得を目指す企業、または認証取得したが経営業績に有効に機能していない企業のコンサルタントに生かせるスキルを身につける。 ② ISO規格要求事項の理解度のアップ ③ 経営改善支援の力量アップを図る
代表	栗山 琢次
連絡先	担当者：栗山 琢次 電話番号：082-894-1202； 090-6841-7446 Email：kuriyama-ta@gol.com.
会員数	6名（令和6年1月現在） 内オブザーバー参加1名
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる方 ・ ISOシステムを活用した経営支援に興味がある方 <li style="text-align: right;">・ 年会費：無料
定例会合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の頻度：2か月に一度、通常は土曜日 10:00～12:00 ・ 場所：広島市まちづくり市民交流プラザ、他 会議室 <li style="text-align: center;">リモート開催、日時、場所も都度決めて進めます。
活動概要	<p>1, ISO規格の2015年版について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015年9月15日に、より実態に沿ったマネジメントを運用するため9001をはじめとしたISOの規格改定が行われた。この改定で、事業計画との一体的な運用が求められることになった。 ・ 当研究会は、外部審査機関からの委託に応じ診断協会を通じて中小企業の認証取得及びレベルアップ支援の協定を結び対応している。 <p>2, これまでの活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H19年9月発足の当研究会は、ISO9001,14001規格の勉強会からスタートしエステサロン認証審査を行った。 ・ H23～H26は、ISO9001での「なぜなぜ分析」介護・福祉分野企業のテキスト、カリキュラム作りと教育・研修会などを実施した。 ・ H27～H30は、2015年版教育用マニュアルを作成、審査機関と連携して、ISO9001、2社の新規規格への認証移行を支援した。 ・ R1～R5年は、2015年版 事業計画との一体化に主眼を置いたマニュアルづくりに取り組んだ。プロジェクトマネジメントの手法の活用、プロセスアプローチ、リスク及び機会への取り組みを活用した中小企業にも取り組みやすい実践的なツール作り、支援業務での事例(成功・失敗)の共有を図った。 <p>3, 今後の活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個人研究 各種業界、分野のプロセス、システムの現状把握、分析、改善を進める際にリスク及び機会を整理・理解し、対応する事が重要となってきている。品質、環境、労働安全、食品安全、情報セキュリティ、脱炭素化、などの事例を取り上げて リスク及び機会への取り組みのマニュアル作りを進める。 ②グループ研究 個人研究の成果を持ち寄り、相互研修（ズーム会議含む）及び リスク及び機会への取り組みについて、書籍（ISO9001 アンリミテッド）を共通テキストとして活用して成果を高める。 ③リモート研修、関連書籍の自由な勉強、まとめ、ズーム会議での発表を組み込み。 ④ 中小企業、ISO 審査機関からの問い合わせ、支援要請への対応。
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO規格をもとに、事業計画の策定からPDCAサイクルを回し続けられる仕組みづくりの支援をするためのノウハウを研究しています。 ・ グループ員の意見で自由にテーマを決め、診断士としての力量アップを図っている。各種業態、業種のプロセスやテーマに興味のある方の気軽な参加期待しています。

建設業研究会

活動目的	当研究会は、企業変革が求められている建設関連企業に対して、当該企業にとって最適と思われる経営支援手法を、具体的かつ実践的な観点で、メンバー皆で模索し検討してゆくことを活動主眼にしています。アカデミックさは乏しいかも知れませんが、メンバーの日頃のコンサル活動に役立つテーマの掘り下げを重視しています。
代表	柳川 治久
連絡先	担当者：柳川 治久（研究会事務局） 電話番号：080-1904-6492 Email：tonmanana@box.email.ne.jp
会員数	7名（令和6年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる方 ・ 年会費：0円
活動概要	<p>1 定例会合（日時〔曜日〕・場所） 日程：2か月に一回程度 場所：広島市内、備後地区でも年1回程度は開催を目指しています 現在、ズーム会議を中心に2か月に1回程度、約90分を目途に開催しています。 R6年度は、対面式会議を中心に、ハイブリッド参加も可能な方法を検討しています。</p> <p>2 活動内容</p> <p>R5年度活動の実績</p> <p>主 題：建設関連企業を経営支援する際に必要な知識・手法の共有 内 容：①対面会議を1回、ズーム会議を5回開きました。</p> <p>②テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設会社を経営支援する際に、知っておくと役にたつ建設業特有のビジネススキームと多くの事業者に求められる代表的な改革課題・改善手法の掘り下げ。 ・ 安定した受注獲得と適正利益を得るための戦略的積算・見積の重要性 (加藤克敏先生によるセミナービデオを録画しています。) <p>③研究会成果物の作成は、一旦中断していますが、来年度以降の課題となっています。</p> <p>R6年度活動テーマ</p> <p>(1) 回数の限られた派遣経営相談や単発的な事業計画書作成も重要ですが、意欲のある経営者に対し、将来のビジョンや方向性の策定を重視し、企業変革につながる支援を中期的な継続性を持ってグループ型で支援してゆくやり方に取り組みます。</p> <p>(2) 中小建設業は「まず、受注ありき」とよく言われますが、安定的受注を確保する仕組み・体制づくりに如何に関わって行くかを考察します。</p> <p>(3) コロナ禍もあり、見合わせていましたが、若手や後継者経営者向け対面式セミナーの企画開催を目指します。</p>
入会を希望される皆様へ	建設業に詳しい会員から今まで縁の薄い会員まで、幅広く入会を募集しています。お気軽に研究会事務局にご一報下さい。

企業内診断士診断能力向上研究会(企業内診断士の会)

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 研鑽 企業内診断士の診断能力等の向上を図る ◆ 貢献 中小企業経営の改善・改革を支援する ◆ 連携 ネットワーク作りを行う
代表	伊藤 圭介
連絡先	担当者：伊藤 圭介 Email：k-ito@i-bizws.co.jp
会員数	40名（令和6年6月現在）
入会条件 会費等	本研究会は、広島県診断協会会員であって、本研究会の目的に賛同する企業内診断士の方を入会資格者としていますが、企業内診断士以外の広島県診断協会会員についても本研究会の目的に賛同して頂ける方ならば、入会可能です。なお、会費等は徴収せず、都度、参加者の実費精算としています。
活動概要	<p>(1) 本研究会について</p> <p>本研究会は、「企業内診断士診断能力向上研究会（略称：企業内診断士の会）」という名称の通り、副業禁止規定等の勤務先の就業規則や平日の行事参加が困難等の時間的制約などから中小企業診断士としての活動が制限されやすい企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）を図ることを主たる目的としています。加えて、中小企業経営の改善・革新を支援（貢献）するとともに、診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）を行うことも目的です。</p> <p>(2) 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業診断技術の研究 会員の有する専門知識や経験等、或いは、企業診断の実例を活用した診断技能・技法の研究 ②最新の業界動向、中小企業政策等企業診断に必要な知識・情報の調査・研究 ③専門家等を招いたセミナー・研修会の開催 ④ネットワーク作り交流会の開催 <p>(3) 令和6年度活動計画の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①月例会合（右写真） 原則として総会および交流会開催月を除く毎月第3土曜日午後に、Zoomまたは広島市内の会議室とZoomのハイブリッドにて開催し、諸活動の経過・成果報告および研修等を行うもの。 ②研究活動 (a) グループ研究 (b) 個人研究があり、会員はいずれか、または両方の活動を行う。 (a) グループ研究 … 3名以上の本研究会会員から成るグループによる研究活動。 (b) 個人研究 … 各自が選定した研究テーマについて、個人で、研究活動を行うもの。 ③実務診断 … 随時実施。これまで商店街、飲食業、広告代理店等各種実施。 協会本部プロボノ活動実証実験事業として、平成30～令和元年度および令和2年度に計2件の協同組合診断を、令和3年度に3件目の組合診断を実施。 ④セミナー・研修会及び交流会 定期：中小企業診断士理論政策更新研修の実施月に会員およびプロコン等との交流会を年2回程度開催（令和5年度は7月と12月に開催）。 令和6年度は7月と11月に開催予定。 随時：他県診断協会会員との交流等を実施。 令和4年度に、愛知県・大阪府の企業内診断士の会との交流会（Zoom）を実施。
入会を希望される皆様へ	令和6年度は活動14年目に入ります。現時点、県内外各地から多様な企業に属する40名の会員が、互いの成長に寄与する『互恵理念』のもと、上記活動を活発に行っています。入会ご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。会合のご見学や、上記交流会へのご参加をお待ちしています。



海外展開支援研究会

活動目的	日本の中小企業が国際化を行っていく際、予期せぬ問題に直面し、海外進出したものの、時には撤退を余儀なくされることがあります。異文化間の障壁を乗り越え、現地での持続的な経営を実現するためには、短期的な対応ではなく、長期的かつ戦略的なアプローチが必要です。この研究会では、企業の国際化の成功事例や失敗事例を多面的に調査・分析し、これらの情報を基にした助言を提供します。この取り組みの目的は、具体的なデータと知見をベースに、実際の企業活動を支援し、国際化の成功を促進することにあります。
代表	平見 尚隆
連絡先	担当者：平見 尚隆 電話番号：087-832-1570 Email：hirami.naotaka@kagawa-u.ac.jp
会員数	4名（令和6年6月現在）
入会条件 会費等	中小企業の海外展開・国際化に興味を持っておられる方 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>本グループ研究会は、国内の中小企業が国際化を図る際の支援の在り方を議論しております。バブル後の低成長、円高の中、日本の産業は大企業、中小企業を問わず、積極的に海外へと進出していきました。予期されていた結果とはいえ、国内の産業の空洞化によるGDPの停滞、並びに少子化による人員不足、円安の進行、資材の高騰なども相まって、中小企業を取りまく状況はますます厳しさを増しつつあります。</p> <p>一方、昨今の起業ブームを反映して新しいタイプの起業が行われています。これらの中には、国際化に直結した活動もあります。代表が教鞭をとる香川大学にて行われているアントレプレナーや地域の中小企業がどのように国際化を図っているかなどについての調査研究を題材に、参加メンバーの意見交換を通じ知見を広げています。特に地方に根付く伝統産業の海外展開の余地は残されており、事業継続の観点からも重要と考えています。</p> <p>日本の伝統産業は、日本人の生活のスタイルの変化も相まって、一部にはその存続が危ぶまれるケースまで出てきています。さらには、今年の能登半島地震が輪島塗という伝統産業に打撃を与えたように自然災害が産業存続に与える影響、また感染症、サイバーテロによる市場の混乱も考慮に入れる必要があることが現実味を帯びてきています。本研究会ではこのような状況の中、いかにこれらの中小企業をサポートしていくべきかを地域の事例を調査しながら議論を続けています。</p> <p>これらの知見を活かし広島地場産業においての中小企業や新規事業の国際化へ貢献していきたいと考えています。</p>
入会を希望 される皆様 へ	会合は原則、毎月1回行っております。興味を持たれた方は、事前に上記連絡先までお問い合わせください。

ニューロビジネス研究会

活動目的	<p>生成 AI は近年急速に進化し、世界中で注目を浴びています。生成 AI は、それ自体の活用（例えば、製品デザインの自動生成やカスタマーサポートのチャットボットとしての活用）だけでなく、ロボティクス等の最新技術との組み合わせにより、その活用範囲が大幅に広がっています。また、手頃な使用料から中小企業での活用も広がりを見せています。</p> <p>当研究会は、中小企業における AI やロボティクス等の最新技術の導入に関する調査・研究を行っています。また、AI の活用に関わる関連事項（AI と専門家との関わり方、データセキュリティの確保、倫理的考慮事項、カーボンニュートラル等）についても研究を行っています。</p> <p>中小企業診断士がこれらの知見を活用し、中小企業に対して具体的なアドバイスや支援を行うことで、中小企業の付加価値を高める事を目的に活動を行っています。</p>
代表	西村 英樹
連絡先	<p>担当者 西村英樹</p> <p>電話番号 080-1915-4308 Email : kyupi@amber.plala.or.jp.</p>
会員数	13名（令和6年6月現在）
入会条件 会費等	<p>興味を持ち、主体的に活動できる方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>研究会では会員だけではなく、AI に関心を持つ中小企業経営者（ユーザ、ベンダー）をメンバーに加え、中小企業が抱える経営課題に対して、AI 等最新技術を活用する具体的な方法について調査・研究を行っている。</p> <p>活用支援</p> <p>(1) AI 活用に関する調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業における AI 等の具体的な活用方法について調査研究を行う。 <p>(2) 関係機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、大学、中小企業関連団体等との連携を強化し研究活動を促進させる。 <p>(3) 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー等を通じて、中小企業における AI 等の活用方法についての情報提供を行う。 <p>(4) 会合場所等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会合は毎月第3土曜日午前中にリモートにて実施する。必要に応じてフィールドワークも行う。
入会を希望される皆様へ	担当までご連絡下さい。

資金繰り表研究会

活動目的	多くの企業様に「精度の高い資金繰り表」の導入・継続作成・管理する事を促し、資金繰りの安定・業績を上げる支援を行う。
代表	大村 貞之
連絡先	担当者 大村 貞之 電話番号：084-939-5523 Email：syo88@iaa.itkeeper.ne.jp
会員数	17名（令和6年6月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> 研究会の活動趣旨に賛同して頂ける方。 無料
活動概要	<p>企業様が精度の高い資金繰り表を、①導入する事。②継続して作成する事。③効果的に管理する事。について、セミナーや個別企業支援を通じて支援し、企業様の業績アップに貢献する。</p> <p>R5年度活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ① YOUTUBE 動画第2弾作成公開（未達成） ② セミナー充足・開催（未開催） ③ 資金繰り表フォーマットの機能更新（随時対応しているが不十分） ④ 個別企業様支援（会員個々による個別企業様支援は実施中） <p>R6年度活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ① YOUTUBE 動画第2弾作成公開 ② セミナー充足・開催（金融機関等、中小企業支援機関向けWEBセミナー等の内容充足・開催） ③ 資金繰り表フォーマットの機能更新 ④ 個別企業様支援（面談支援に加え、オンライン支援の充実等）
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月よりスタートの研究会です。 平成29年6月より、随時、開催中です。
公開資料について（補足説明）	<p>➢ 資金繰り表エクセルフォーマットを更新し、公開中です。（R元年12/25～）</p> <ul style="list-style-type: none"> このフォームは月次資金繰り表で、収支計画・売掛等入金・買掛等支出・製造経費・販売管理費・財務収支と連動しています。比較的早く簡単に作成できるよう工夫しています。計画の隣に実績を入力できるので、予実管理もできます。資金繰り表のひな型として、ご活用頂きたいです。 <p>➢ 新型コロナウイルスの感染拡大により、資金繰りで困っておられる企業様に向け、以下の研究成果を公開しています。（R2年4/16～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 資金繰り表の作り方 <ul style="list-style-type: none"> 資金繰り表の作り方の操作説明資料の一部を抜粋したパワーポイントです。動画になっていますので、スライドショーを実行して頂くと操作方法が分かりやすいと思います。 ② 資金繰り表とは、資金繰り表のメリット <ul style="list-style-type: none"> 資金繰り表とは何か、そのメリットは何かをまとめています。{借入の際だけ金融機関に提出するのではなく、継続的に実績管理・再作成する事で、長期的に見てキャッシュフローの向上（付加価値の向上・業績の向上）が図れます。} ③ 資金繰り表のルール確立 <ul style="list-style-type: none"> 資金繰り表は、見方は簡単だが作成するのは意外と難しいと言われる人がいますが、それは、ルールが様々で確率されていない事が一因です。根拠あるルールを示しています。 ④ 資金繰り表の作成手順 <ul style="list-style-type: none"> 当研究会の資金繰り表フォームでの作成手順を示しています。必要なものが揃っていれば、早ければ1時間で作成できます。

原価管理研究会

活動目的	中小企業全業種に導入可能な「原価管理システム」の構築から運用までのノウハウを習得し、システム活用によるコンサルティング技法を調査研究する。
代表	濱上 敬介
連絡先	担当者：濱上 敬介 電話番号：070-8448-2003 Email：hamagami@mominoki-consul.com
会員数	15名（令和6年7月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> • 研究会の活動趣旨に賛同する者 • 年会費 0円
活動概要	<p>1 活動方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • 定例会合：情報交換等 • 隣県協会：情報交換等 • 調査研究：ソフトのクラウド化 • 研修会等：原価管理に関すること <p>2 活動内容（研修会等）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 原価管理のコンサルティング手法（座学） • 建設業の原価管理の導入事例（実践） • 製造業の原価管理の導入事例（実践） • その他業種の原価管理の導入事例（実践）
入会を希望 される皆様 へ	<ul style="list-style-type: none"> • 連絡先担当者へご一報ください。

事業承継研究会

活動目的	事業承継は企業が継続するために避けられない課題であり、「経営承継円滑化法」など国の施策でも集中的に措置が図られている。当研究会では事業承継計画の策定や、その実行支援、問題解決等について、中小企業診断士が果たす役割とスキルの向上を目指す。
代表	植田 昌子
連絡先	担当者 植田 昌子 電話番号：090-7590-1328 Email：masako4@outlook.jp
会員数	35名（令和6年6月現在）
入会条件 会費等	研究会の活動趣旨に賛同し、テーマに関心をお持ちの方。 定例会は福山市で開催していますが、広島市内にも会場を設け、Zoom も利用したハイブリッドで実施しています。 年会費：無料
活動概要	<p>1. 活動の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫緊の課題である事業承継問題に対する支援と問題解決のスキルを研究し、中小企業診断士が事業承継のコンサルタントとして果たす役割の向上を図る。 <p>2. 令和5年度活動実績</p> <p>①事業承継事例研究</p> <p style="padding-left: 20px;">月1回の定例会において出題される事例問題について、担当班が解答・解説を発表し、その後全員により質疑・意見交換を行いました。各会員の経験・実績と得意分野を生かした多種多様な意見が交わされ、お互いに学びあうことで、事業承継問題解決への対応力向上を図っています。</p> <p>②セミナーの開催</p> <p style="padding-left: 20px;">R5年3月、会員の鉄本一生さんの事業承継書籍『ストーリーで読む スモールM&Aの実務』の出版を記念して、専門家向けセミナーを開催。前半の講義の後、後半は質疑応答を対話形式で行い、予定時間を上回る活発な意見交換が行われました。</p> <p style="padding-left: 20px;">後日、セミナーの動画をYouTubeにアップするとともに、参加者に『講義のポイント・質疑応答のまとめ』を送付したことも好評でした。</p> <p>③事例紹介・検証</p> <p style="padding-left: 20px;">会員が担当する案件について、守秘義務の範囲内で紹介。課題の抽出や解決策の提案、意見交換を行っています。</p> <p>④中国経済産業局セミナーの受託</p> <p style="padding-left: 20px;">中国経済産業局 職員向け中小企業支援能力向上研修 計3回実施</p> <p>⑤R6年1月、カーブを科学する研究会と知的資産経営研究会との合同意見交換会の実施</p> <p>3. 令和6年度活動予定</p> <p>①定例会（毎月1回） リアル会議とZoom併用での実施</p> <p style="padding-left: 20px;">日時：第2土曜日 10:00～12:00 場所：福山市内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継事例研究（担当班による解説の発表と、全員での質疑、意見交換） ・事例紹介・検討 <p style="padding-left: 20px;">※リアル会議とZoom併用での実施を予定</p> <p>②事業承継支援団体や金融機関とのタイアップによる支援活動を検討中</p> <p style="padding-left: 20px;">これまでにも、実際の企業へ向けたセミナーの開催や、事業承継診断と提言の実施も行っており、今後も知識・スキルの習得と併せ、リアルな支援活動を行う機会を考えています。</p>
入会を希望される皆様へ	設立7年目の研究会です。備後地区だけでなく広島市内からの参加者も半数を占めていますので、関心のある方はぜひご連絡ください。

企業再生実践研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生支援の現場で実践できる知識、スキルを研究し習得すること。 ・事業再生にも寄与できる中小企業診断士を育成すること。
代表	岩本 亨
連絡先	担当者：岩本 亨（企業再建・承継コンサルタント協同組合 理事常務執行役員 西日本統括部長 中国支部長） 電話番号：090-3902-6778 Email：iwamototooru@gmail.com
会員数	11名（令和6年6月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生を実際に支援したい意欲をお持ちの方 ・会員1名以上の推薦が得られ、入会されるメリットが認められる方 （推薦を得ることが難しい場合は、岩本との事前面談をお願いします） ・会費 なし
活動概要	<p>■事業目的と取り組み概要</p> <p>金融庁は金融機関に対して、中小企業の支援スタンスを「資金繰り支援」から「本業支援」へ変更しました。最近アフターコロナの状態にあるものの、従前の経営環境には戻らず、そこに円安、資源高、電気料金・人件費の高騰、等々で経営危機にある企業が増加しています。その企業を再建するために、中小企業診断士として当該企業に、また当該企業が借入をしている金融機関にどのように対応すべきかを熟知しておくことが求められます。現場で実践できる知識、スキルを研究し習得する。これにより事業再生にも寄与できる中小企業診断士を育成することを目的としています。</p> <p>現状で返済原資が確保できない企業をどのように支援するかが大きなテーマになっています。当研究会の取り組みとしては中小企業の事業再生に関する書籍をベースにして、ディスカッションを中心に取り組んでいますが、実際の支援先を探索し、再生支援を実践していきたいと考えています。</p> <p>■研究テーマ</p> <p>事業再生支援には原理原則があります。特に私的整理についての知識をしっかりと持たなければ我流の支援になります。そうならないために実践的な支援に役立つノウハウを蓄積します。例会での情報をもとに、多様な知見を得てスキルアップに努めたいと考えています。</p> <p>【実施事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 再生支援についての基礎知識の習得⇒今期については会員が推薦する再生関連の書籍を参考書として活用。8月以降しばらくは「私の中の企業支援と再生」（伊藤貢著作 一般社団法人金融財政事情研究会刊）をテキストとします。 ② 再生支援についての事例研究、ノウハウの共有。代表の岩本の再生支援の取組事例を守秘義務の範囲内でタイムリーに共有する（※再生支援の最新事情を知ることができる） ③ 再生支援について官交換庁・公的機関・商工団体等との連携の模索 <p>■実施予定</p> <p>「研究会例会」を中心に関連する活動についても可能な範囲で活動することとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）研究会例会（6回開催） 原則偶数月の第一土曜日午後。8月は診断士一次試験と重なるため8/10。 （2）支部機関紙への出稿 年2回協会発行の「診断ひろしま」に対し、依頼があり対応が可能な場合、出稿します。
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・代表の岩本宛ご連絡を頂ければと思います。よろしくお願いたします。

カープを科学する研究会

活動目的	<p>リーグ3連覇を達成したカープ球団は、個性あふれる選手の活躍や BBQ も楽しめるユニークな球場、カープ女子をはじめとするファンの広がり等により、ここ数年世間の注目を集めています。華々しい選手の活躍やマスコミ報道の裏には、豊富な経営資源を有する他球団には無い地方球団としての知恵を使った球団経営があることを忘れてはいけません。</p> <p>独自の歩みを進めるカープ球団を中小企業診断士の立場から科学的に研究し、ファンを魅了し、応援したくなる秘密に迫ります。研究成果は地域における中小企業経営支援に役立てていきたいと考えます。</p>
代表	伊藤 圭介
連絡先	担当者 伊藤圭介 電話番号 090-2623-6923 Email : k-ito@i-bizws.co.jp
会員数	15名（令和6年6月現在）
入会条件 会費等	興味を持ち、主体的に活動できる方 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>(1) 個人研究 会員がそれぞれ関心を有するテーマについて調査研究を行い、その結果を研究会で発表する。</p> <p>(2) グループ研究 プロ野球選手等のデュアルキャリア支援、野球中継を見ながらの戦力分析等を行う。</p> <p>(3) 情報発信 研究成果は、診断協会内で共有するとともに外部に対しても積極的に情報発信を行う。 情報発信：HP の開設、SNS、YouTube 等</p> <p>(4) 定例会について 毎月第3日曜日に実施 広島市または福山市、リモートでの Web 会議の場合もあり。</p> <p>(5) その他：研究会参加者は、必ず“赤いもの”を身に着けること。</p>
入会を希望 される皆様 へ	代表の伊藤までご連絡下さい。

リスクマネジメント研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントとBCPを研究 ・リスク啓発とその対策として損害保険の活用を研究
代表	三村（みつむら）雅彦
連絡先	担当者：三村 雅彦 電話番号：090 - 6713 - 4467 Email：mitumura@saishinit.com
会員数	10名（令和6年2月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の活動趣旨に賛同し、参加できる方 ・年会費：現時点では0円
活動概要	<p>1 定例会合（日時〔曜日〕・場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 毎月第一木曜日（予定） ・場所 広島市中区袋町にあるシシンヨービル内会議室（本通電停から徒歩30秒） <p>※ZOOMも併用するので、出席しやすい。</p> <p>2 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向けにリスクマネジメントを浸透させる方策の研究 ・リスクマネジメントの一環として損害保険の活用方法を研究 ・これらを含めた新しいビジネスモデルの構築 <p>3. 2024年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向けにリスク啓発のセミナーを、内容をブラッシュアップしつつ開催したい。 <p>4. 特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診断士だけでなく商工会議所や国や県など行政機関、さらには損害保険会社OBとも連携して、所期の目標を達成していく。
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・三村までご一報ください。 ・リスクマネジメントやBCPそのものを研究していくことよりも、広島の中企業にリスクマネジメントをどうやって浸透させていくかを研究し、実際に動くことに主眼をおいています。

知的資産経営研究会

活動目的	知的資産経営を習得し、中小企業支援に活用することで、地域経済の発展に貢献する
代表	森島 重樹
連絡先	担当者：森島 重樹 電話番号：090-6437-3275 Email：akaherubingo@gmail.com
会員数	16名（令和6年7月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる方 ・活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>■当研究会が目指すもの</p> <p>当研究会は、知的資産経営の手法、ノウハウ、他社の活用事例等を研究し、研究会メンバーの支援スキル向上を図ると共に、金融機関等と連携し企業に対して知的資産経営の実践的な取り組みを支援することで、広島県内の中小企業の活性化に貢献します。</p> <p>■令和5年度活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・事例研究等による知的資産経営に関する知識の習得 ・事業者へのローカルベンチマーク支援による企業ヒアリング技術の習得 ・企業訪問支援による知的資産経営報告書の作成実習 ・他府県研究会から講師を招いて勉強会実施 ・知的資産経営サミット【全国の知的資産経営研究会の年次研究発表会】に参加し、他府県研究会との交流による知識・ノウハウの補強 ・商工会等支援機関への職員向けセミナー開催 ・金融機関主催の事業者向けセミナーでコーディネーター支援 <p>■令和6年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・事例研究等による知的資産経営に関する知識の習得 ・事業者へのローカルベンチマーク支援による企業ヒアリング技術の習得 ・ロカベンワークショップの開催 ・他府県研究会との交流による知識・ノウハウの補強 ・知的資産経営サミットへの参加 ・金融機関や商工会等支援機関へのセミナー開催 ・当研究会HPの開設 <p>■定例会合等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日程：月1回情報交換会、随時の勉強会 ・開催場所：広島または福山で交互開催、またはZoomミーティングを予定
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある方は、代表森島までご連絡ください

日本酒の未来を考える研究会

活動目的	日本酒業界の現状を調査研究すると共に、「酒どころ広島」の日本酒産業におけるブランド価値の再構築と市場拡大を支援する
代表	綿谷 伸二
連絡先	担当者：綿谷 伸二 Email：swatadani88@gmail.com
会員数	3名（令和7年4月設立時）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の活動趣旨に賛同していただける方 ・原則無料（活動費は必要に応じて実費負担）
活動概要	<p>■研究会設立の背景</p> <p>少子高齢化や人口減少など人口動態の変化、消費者の低価格志向、ライフスタイルの変化や嗜好の多様化等により、国内の酒類販売市場は全体として縮小傾向にある。特に、日本酒の課税数量は、昭和48年度のピーク時（177万KL）から、令和3年度には3割以下の40万KLまで減少するなど日本酒の消費量は減少の一途をたどっている。さらに、コロナ禍以降、家飲み文化が浸透し、飲食店への客足も以前の状態までには戻っていない。しかも、日本酒以外の新たな酒類の存在により、今後日本酒の消費はさらに減少する懸念が大きい。</p> <p>一方、日本酒などの「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録され、今後インバウンド客を中心に日本酒需要が高まる期待もある。</p> <p>このような状況下において、本研究会は、広島県で活動する中小企業診断士として、県内外の酒造会社の現況を把握し、ありがたい姿およびそのための課題を整理し、施策実行を支援することで、「酒どころ広島」の日本酒産業におけるブランド価値の再構築と市場拡大を支援することを目的として設立された。</p> <p>■主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本酒学に関する知識習得 ・日本酒業界の動向調査および研究 ・広島県の日本酒製造業、卸売業、小売業などの調査および研究 ・他研究会（事業承継研究会、知的資産経営研究会など）との共同作業による日本酒業界支援策の研究 <p>■定例会合等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日程：月1回情報交換会および勉強会 ・開催場所：リモート会議またはリアル会議（広島、福山、西条など）
入会を希望される皆様へ	令和7年4月に設立された新しい研究会です ご興味のある方は、代表の綿谷まで Email でご連絡ください

<余白>

令和6年7月発行（令和7年5月改訂）

発行者 一般社団法人広島県中小企業診断協会

編集人 グループ研究委員会

連絡先 〒730-0052
広島市中区千田町3丁目7番47号
広島県情報プラザ3階
TEL (082) 569-7338
FAX (082) 569-7336
E-mail : jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp